

第二十七回帝國議會
衆議院

國稅徵收法中改正法律案委員會會議錄(速記)第七回

會議

明治四十四年三月十三日午後一時三十分開議

出席委員左ノ如シ

大井 卜新君

根岸 嵯太郎君

水野 正己君

中村 啓次郎君

元田 肇君

近江谷 榮次君

河野 郁太郎君

村上 先君

石田 平吉君

德田 讓甫君

出席政府委員左ノ如シ

大藏省主税局長 菅原 通敬君

本日ノ會議ニ上リタル議案左ノ如シ

國稅徵收法中改正法律案

○委員長(大井卜新君) 會議ヲ開キマス

○元田肇君 本案ニ付キマシテハ、數日間委員會ヲ開カレマシテ、段々質問等モ致シタノデアリマスガ、委員會ニ於キマシテ唯委員會ヲ問答ノミヲシテ居ルヨリハ、直接政府ト交渉シテ見タガ宜カラウト云フ考デアリマシテ、再三再四種々講究シマシタガ、今日ノ場合ニ於キマシテ、何分ニモ財政ノ有様等が原案ノ通りニ行ハレ兼ネルト申サレマシテ、如何ナル決定ヲ衆議院デ致シマシテモ結果ガ成立シナケレバ役ニ立タヌコトデアリマスカラシテ、遺憾ナガラ先ヅ今日ニ於テ行ハレルト存ジマス點ニ止メマシテ、修正案ヲ茲ニ提出致シマス、併ナガラ此徵收法案ニ付キマシテ、今日出シマス修正案ガ必シモ純正ナル公平無私ノモノト云フコトハ決シテナト吾々ハ信ズル、比較的今日マデ一文モ與ヘナイヨリハ、地租ニ付テモ出來ル限リノ徵收手續料ト云フモノヲ交付スルヲ當然ナリトシテ、不満足ナガラ修正案デケノ交付金ヲ出スコトニ致シテ、今日修正案ヲ提出スルノデゴザイマス、ツレハ原案ニ「前項徵收ノ費用トシテ其徵收金額ノ百分ノ四ヲ其ノ市町村ニ交付スヘシ」トアリマスガ、之ヲ修正致シマシテ、即チ現行法律ニ付テ申シマスガ「前項地租徵收ノ費用ハ其ノ徵收金額ノ千分ノ七其他ノ國稅ハ其ノ徵收金額ノ百分ノ四ヲ其ノ市町村ニ交付スヘシ」ト云フコトニ修正致シマス、尙吾々ハ將來ニ於テ今少シク公平ナル法律ニナルコトヲ望ムデ居ルガ、今日ハ是デケノ修正案ヲ提出シテ成立ヲ圖リタイト云フ考デアリマス、ツレカラモウ一ツ希望ガアリマスケレドモツレハ後ニ讓リマス

(贊成)「ト呼フ者アリ」

○元田肇君 政府委員ノ御意見ハアリマセヌカ

○政府委員(菅原通敬君) 唯今元田君ヨリ御修正案ガ出マシタガ、其修正案ヲ御提出ニナリマスデハ、御述べニナリマシタ通り種々御研究ノ結果デアルト思フノデアリマシテ、ツレニ對シテ唯今政府ノ意見ヲ免ヤ角申上ゲルマデモナイト思ヒマスガ、元來本案ヲ御提出ニナリマシタノハ、地租及其他ノ國稅ニ對シテ公平ニ其交付金ヲ得ヤウト云フトコロニアラレタモノデアルト云フコトヲ、御說明ニ依テモ又御趣意書ニ依テモ承知

致シテ居ルノデアリマシテ、凡デノ諸稅ニ對シテ徵收ノ費用ヲ公平ニ交付スルト云フコトハ、理論ノ上ニ於テモ其可否ヲ言フマデモナイコトデアルト思ヒマシテ、其御趣意ニ對シテハ政府トシテモ全然御同意ヲ致シテ居タノデアリマス、唯ツレニナリマス云フト、其方法如何ニ依ツテハ國ノ歲出ヲ増加スルト云フコトニナリマスノデ、歲出ヲ増加致シマシテ而シテ御希望ノヤウニ公平ヲ保ツト云フコトニナリマス云フト、今日ノ財政ノ狀態ニ於テ實行ノ出來ヌコト——御同意ノ出來ヌコトデアルト云フコトデ、イロ／＼問題モ生ジタト云フコトニナリマシテ、然ルニ本案御修正ノ御意見ハ、地租ニ對シテハ千分ノ七、其他ノ國稅ニ對シテハ千分ノ四十ト云フコトニナルノデアリマシテ、其間頗ル公平ヲ得テ居ラヌヤウニ思フノデアリマシテ、折角公平ヲ保タレヤウト云フトコロノ御發案ニ對シテ、其御希望ヲ御滿シニナルコトノ出來ナカッタノガマダ遺憾デアルト思ヒマスガ、私共亦御同感デアルノデアリマス、申シマス「云フト」獨リコノ徵收金額ニ對スル幾ラト云フ金額ノミヲ交付スルト云フコトハ、國稅徵收ノ手續料ト致シマシテ尙公平ヲ得テ居ラヌ、縱令各稅ノ間ニハ歩合ガ同ジデアルトシテモ公平ハ維持出來ナイ、ヤハリ其公平ヲ維持スルニ付テハ、徵收金額ヲ標準トスル時分ニ納稅告知書ノ數ト云フモノヲ調ベルト云フコトハ必要デアラウ、サウ云フトコロマデ參ラヌデハ絕對ノ公平ト云フコトヲ得ルト云フコトハ出來ナイト云フコトヲ申シタノデアリマスガ、其コトモ行ハレズ、尙又一方ニハ千分ノ七、一方ニハ千分ノ四十ト云フヤウナ大分懸隔タタコロノ標準ヲ立テラレタト云フコトハ、少シモ權衡ヲ保ツト公平ヲ維持スルカ云フ目的ノ副フコトノ出來ナイヤウナコトデ、甚ダ遺憾ニ存ズルノデアリマス、願クハ相當ノ時ヲ得テ是等ノ公平ヲ保ツコトガ出來ルコトニアリタイモノデアリマス、政府トシテモ調査致スノデアリマスガ、又諸君ニ於テモ御研究ヲ願ヒタイト云フコトヲ希望ラ一言申上ゲテ置キマス

○委員長(大井卜新君) チョット請願書ガ三十二通出テ居リマスガ、之ヲ參考ノタメニ申上ゲマス、一々讀ムノモ大變デスカラ一ツダケ讀ムコトニ致シマス

(書記朗讀)

國稅徵收法中改正ノ請願書

現行國稅徵收法第五條ヲ以テ市町村ニ徵收納付ノ責任アル國稅中獨リ地租徵收ニ對シテ交付金ヲナサヌメニ主トシテ地租ヲ納ムル町村ハ大ニ自治ノ活動發達ヲ阻害セラレ不一方困難致シ居候ニ付何卒特別ノ御明察ヲ以テ地租徵收ニ對シテモ公平均一ノ交付金有之候様該法律御改正被成下度此段奉請願候也

○委員長(大井卜新君) 外ノモ大抵之レト同ジヤウナモノデス

○水野正己君 此事ニ付テハ委員會ガ大臣ノ出席ヲ待ツテ初メテ議スルト云フコトニナッテ居リマシタノガ、大臣ノ出席モ得マセズニ決スルト云フコトハ甚ダ遺憾ト存ジマスガ、其内容ニ付テハ今元田君ヨリ御話シデアリマシタノデ、多分是ハ元田君一個人トシテ御交渉下ヌタモノト信ズルノデアリマス、併シ略々其内容ヲ知ルコトヲ得マシタノデ、幾分ノ満足ヲ持ツテ居リマス、併ナガラ私ハ此原案ノ通り決セラレンコトヲ望ムノデス、原案

ノ維持者トシテ一言申シテ置キマス

○委員長(大井ト新君) モウ他ニ意見ハゴザリマセヌカ、ソナラ決ヲ採リマス元田君ノ修正説ニ賛成ノ諸君ハ起立

起立者 多數

○委員長(大井ト新君) 多數デゴザイマス

○元田肇君 ソレデチヨット私ハ取調中ニ開得タコトデアリマスルケレドモ、諸君ノ前ニ披露シ御意見ヲ伺フテ置キタイト思ヒマスノハ、近來此稅ノ徵收ガ増スニ連レテ滞納者ガ非常ニ殖エタ、ソレモ事情困難デ滞納スルト云フコトデアレバ、格別デアルガ、穢ク申セバ日歩勘定ラシテ、大金ヲ納メル資力ノ有ル人ガ督促ヲ受ケテモ出サナイ、滞納處分ニモ及ボウト云フ場合ニ俄カニ納メルト云フ惡弊ガ近頃起ツテ來ル、此惡弊ヲ防グタメニ徵收法中ノ第四條ノ二、第四條ノ三、第四條ノ四、第九條、第十條、第十二條、第十七條、第二十三條ノ一、二十八條、二十九條、三十一條中ニ、督促手數料トアリマスガ、其手數料ノ下ニ「延滞金」ト云フ三字ヲ加ヘタイト云フコトヲ當局者モ言ハレテ居リマスノデ、其得失ハ吾々モ未ダ研究シテ居リマセヌカ、最早只今ノ眼目トスルトコロガ決定致シマシタノデ、此タメニ更ニ委員會ヲ開クトカ云フコトモ大變デ、會期モ切迫シテ居ル際デアリマスカラ、諸君ノ御意見ニ依リマシタナラバ、委員長ニデモ一任サレテ決ラカニ決スルコトニシテ貰フヤウニ、加ヘルトカ、加ヘヌトカ云フコトヲ決スルコトニハナリマスマイカ、一應茲ニ提議ヲ致シテ置キマス

○中村啓次郎君 チヨット政府委員ニ御尋致シタイノデスガ、只今元田君ノ御話ニナリマシタ點ニ付キマシテ、故意ニ滞納スルヤウナモノデ、故意カドウカ分リマセヌケレドモ、サウ云フ風ニ見ヘル郡部ト市部ト比較シ何カ調査シタモノガアリマスカ

○政府委員(菅原通敬君) 郡部ト市部トニ引分ケマシテ、總テソレヲ御覽ニ入レルト云フデケノ材料ヲ唯今持ツテ居リマセヌデアリマスガ、其故意或ハ怠慢ニ依テ租稅ヲ滞納致シテ居ル者ハドウ云フ種類ニ多イカト云フコトヲ申上ゲタナラバ、自カラ是ハ御分リニナルダラウト思ヒマスカラ、其事ヲ申上ゲマスガ、勿論大體ノコトニ付テ申上ゲルノデアリマスカラ其積リテ御聽取ヲ願ヒマスガ納稅成績ノ最モ宜シイノハ地租デアル、其次ニハ所得稅、其次ニハ營業稅、斯ウ云フヤウニ直接國稅ニ付テハナッテ居ルノデアリマス、ソレデ地租ノ納稅者ハ御承知ノ通りナカ、眞面目ニ納稅ノ義務ヲ重シテ居ルト云フ風ガアルノデアリマシテ、是ハ從來カラノ慣習ト致シマシテ、地租ト云フモノガ即チ其年貢デアル、即チ是ハ國稅デアルト云フノデ、地租ト云フモノニ付テハ餘程成績ガ宜イノデアリマス、殊ニ此地租ノ納稅者ト云フ者ハ郡部ニ在リマスニコロノ樸訥ナルニコロノ納稅者デアルノデアリマスカラ、此納稅ノ義務ト云フモノニ付テハ餘程重キヲ爲シテ居ル、所ガ此反對ニ營業稅ノ方ニナリマスニコロト、御承知ノ通り營業者デアリマスカラ、先ツ納稅ノ義務ヲ辨ヘルト同時ニ、又自分ノ計算ヲ爲スト云フ如キ極メテ利巧デアルノデアリマス、故ニ此營業稅ノ納稅者ニナリマスニコロト、納期ノ來テ居ルト云フコトヲ承知シテ居リナガラ、特ニ納付ヲ怠ルト云フヤウナ向キガ多イノデアリマス、殊ニ營業稅ニナリマスニコロト云フト、大キナ納稅者ニナルト幾万圓ト云フ税金ヲ納メルト云フト幾万圓デアリマセヌデモ、或ハ何千圓何百圓ノ税金ヲ納メル者モアル、地租ノ納稅者ト大分趣キヲ異ニシテ居ルヤウデスガ、營業稅ノ納稅者ニナリマスニコロト、ドウモ金利ノ計算ヲ致シテ居

ル、金利ノ計算ヲ致スト同時ニ又手數ヲ成ルベク省クト云フコトヲ考ヘル、故ニ態々暇ヲ潰シテ稅務署ナリ、或ハ區役所ナリニ税金ヲ持ツテ行クト云フコトヲ致サズニ、納期ニ後レ督促狀ヲ發行ヲ受ケテ、サウシテ愈 財產差押ヲ受ケルト云フテ官吏ガ出張シマシタ場合ニ、現金ニ督促手數料金十錢ヲ添ヘテ提供スルト云フヤウナ向キガ段々多クナツテ來ルノデアリマス、其傾向ハ頗ル著シイノデアリマシテ、先程調査致シマシタニコロノモノニ依テ見マスルト云フト、三十八年カラ四十二年迄ノ間ノ——是ハ單リ東京市内ニ於テノモノニ調ベデアリマスケレドモ、以テ一般ヲ推スコトガ出來ヤウト思フノデアリマス、三十八年ニ於テ財產差押ノ際ニ現金ヲ提供シタモノデゴザイマスガ、差押手續ヲ受ケズシテ現金ヲ提供シテ收稅官吏ニ持タシテヤッタ其納稅人員デアリマス、ソレガ三十八年ガ一万一千三百三十二人ニナツテ居ル、ソレガ三十九年度ニハ一万九千二百七十五人ニ増加シ、四十年ニハ二万四千九百九十一人ニ増加シ、四十一年ニハ三万六千六百六十五人ニ増加シ、四十二年ニ於テハ五万五千九百九十八人ニ増加シタト云フヤウナ、非常ナ勢ヲ以テ増加シテ居ルト云フヤウナコトデ、例ヘバ一方ニ於テ眞面目ニ納期ヲ守リマシテ納稅義務ヲ重シテ納稅シテ行クト云フ者ガアル、一方ニ斯ウ云フヤウナ故意怠慢ニ依リマシテ、或ハ金利ヲ利スルガタメニ、或ハ手數ヲ利スルガタメニ、追々是ガ増加シテ行クト云フコトニナルノデアリマシテ、是ニ對シテハ何等カノ矯正方法ヲ設ケナケレバナラヌト云フコトハ夙ニ政府ハ認メテ居ルノデアリマシテ、唯今元田君ノ御意見ハ至極時宜ニ適シタル御意見デアルト思ヒマスカラ、政府ト致シマシテハ全然御制定ニナルコトヲ希望スルノデアリマス

○河野郁太郎君 ドウデセウモウ一年延バシテハ……

○近江谷榮次君 惡ルカッタノヲ改メルノデスカラ賛成シマス

○元田肇君 國稅徵收法第九條ニ依リマスルト、督促手數料ナルモノハ勅令ノ定ムルトコロニ依テ金高ガ定マルノデアリマス、延滞金ト云フコトヲ加ヘタ時分ニハ、何程ノ程度以上ニ於テ政府ハ御定メニナルノデアリマセウカ、唯今政府モ頗ル同感デアルト云フ御説デアリマスカラ承ハリタイ

○政府委員(菅原通敬君) 延滞金ヲ徵收スルト云フコトニナリマス、總テノモノニ之ヲ適用致スト云フコトハ頗ル酷デアラウト思フノデアリマス、何トナレバ延滞金ヲ設ケルト云フコトニナリマス、先程モ申上ゲマシタ通り、多額ノ税金ヲ納付スル者ガ其金利ヲ利スルガタメニ特ニ延滞スルト云フヤウナモノニアルノデアリマスカラ、其者ヲ矯正スル趣意ヲ以テ延滞金ト云フ制度ヲ設ケルト云フコトデアリマス、是ハ納稅金額ヲ一ツノ標準ト定メテ、其程度以上ノモノハ適用スルガ、其程度以下ノモノハ除外スルト云フヤウナコトニナルノガ相當デアラウト思フノデアリマス、若シサウ云フ御案ガ成立チマシテ、政府ニ於テ勅令ヲ以テ其程度ヲ定メルト云フコトニナリマスレバ、税金額十圓以上ノモノ位ニ適用スルノガ相當デアラウト考ヘテ居ルノデアリマス

○元田肇君 更ニ條文ヲ明確ニスルタメニ、第五條第二項ヲ「前項徵收ノ費用トシテ地租ニ對シテハ其徵收金額ノ千分ノ七、其他ノ國稅ニ對シテハ其徵收金額ノ七分ノ四ヲ其市町村ニ交付スヘシ」ト改メマシテ、其整理ハ委員長ニ一任致スコトニ致シマス

○委員長(大井ト新君) ソレデハサウ決シマシテ、本日ハ之ヲ散會致シマス

午後二時二十二分散會